

小学校

わたしのまわりには…

○目標となる資質・能力

相談・支援を求める力、思いやり・他者理解

○指導のねらい

自分を支えてくれている人たちを思い起こすことで、安全・安心な環境を認識し、困ったときに相談や支援を自ら求めようとする態度を育む

○準備するもの

ワークシート×児童数

○教育課程、実施時期

特別活動

○留意点など

家族や親戚との関係を扱う際には、事前に了承を得るなど、十分に留意すること

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 自分の周りに多くの人が関わっていることに目を向ける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">わたしをつつんでくれているひとたちをさがそう</div>	・例をあげて児童がイメージしやすいように留意する
展開 35分	2 ワークシートを用いて、自分のまわりにいる人にかく 3 完成した図を見て、感じたことを書き込む 4 班内で発表会をする	・似顔絵でも文字でもよいが、発達段階等に応じて工夫する ・支えてもらっている、守ってもらっているという視点を持たせる ・実物投影機等を用いて全体に発表させてもよい
まとめ 5分	5 本時の振り返りをする	・困ったときは、相談すればいつでも助けてくれることを実感させる

参考

○「自分の周りに多くの人に関わっていることに目を向ける」について

普段意識しないが、実は、多くの人自分が関わってくれていることを想起させる。黒板にワークシートと同じ絵を描き、例示しながら進めるとイメージしやすくなる。

○「ワークシートを用いて、自分のまわりにいる人にかく」について

主たる目的に応じて、条件をつけた方がよい。無条件で行うと、クラスの友だちだけになってしまうことが予想される。本授業案は「相談・支援を求める力」を目的としているので、クラスの友だち以外でかかせるようにするとよい。まず中心の円に自分の似顔絵をかかせる。その後、外円の内部に関わりのある人をかかせていく。一人ひとり似顔絵をかかせるとういが、確保できる時間の都合や、実施する学年、クラスの状況に応じて、顔の輪郭の中に名前を書かせるなどの工夫を行う。付属のワークシートは最もシンプルなものにしてあるが、発達段階や主たる目的に応じて、下記のような工夫が考えられる。

(ワークシートの工夫例)

- ・ 円の中心から縦横に線を引き 4 等分して、それぞれの領域にかかせる人物を分ける役割で分ける…「大事にしてくれる人」「生活を支えてくれる人」「相談に乗ってくれる人」「気の合う人」
- ・ 立場で分ける…「友だち」「家族・親戚」「地域の人」「学校の先生」
- ・ 同心円状に円の数を増やし、的のようにして、中心ほど関わりの強い人をかかせる

○「完成した図を見て、感じたことを書き込む」について

一人で生きているのではない、たくさんの人に支えられている、たくさんの人が私を守ってくれているという実感が湧くように展開したい。その実感を基に、困ったときは自ら相談や支援を求めることができる態度を育む。

○「班内で発表会をする」について

完成した図を用いて、班内で発表させる。数コマに分けて実施可能であるならば、実物投影機等の機器を用いて投影させながら、全員にクラスで発表させてもよい。

○今後の展開について

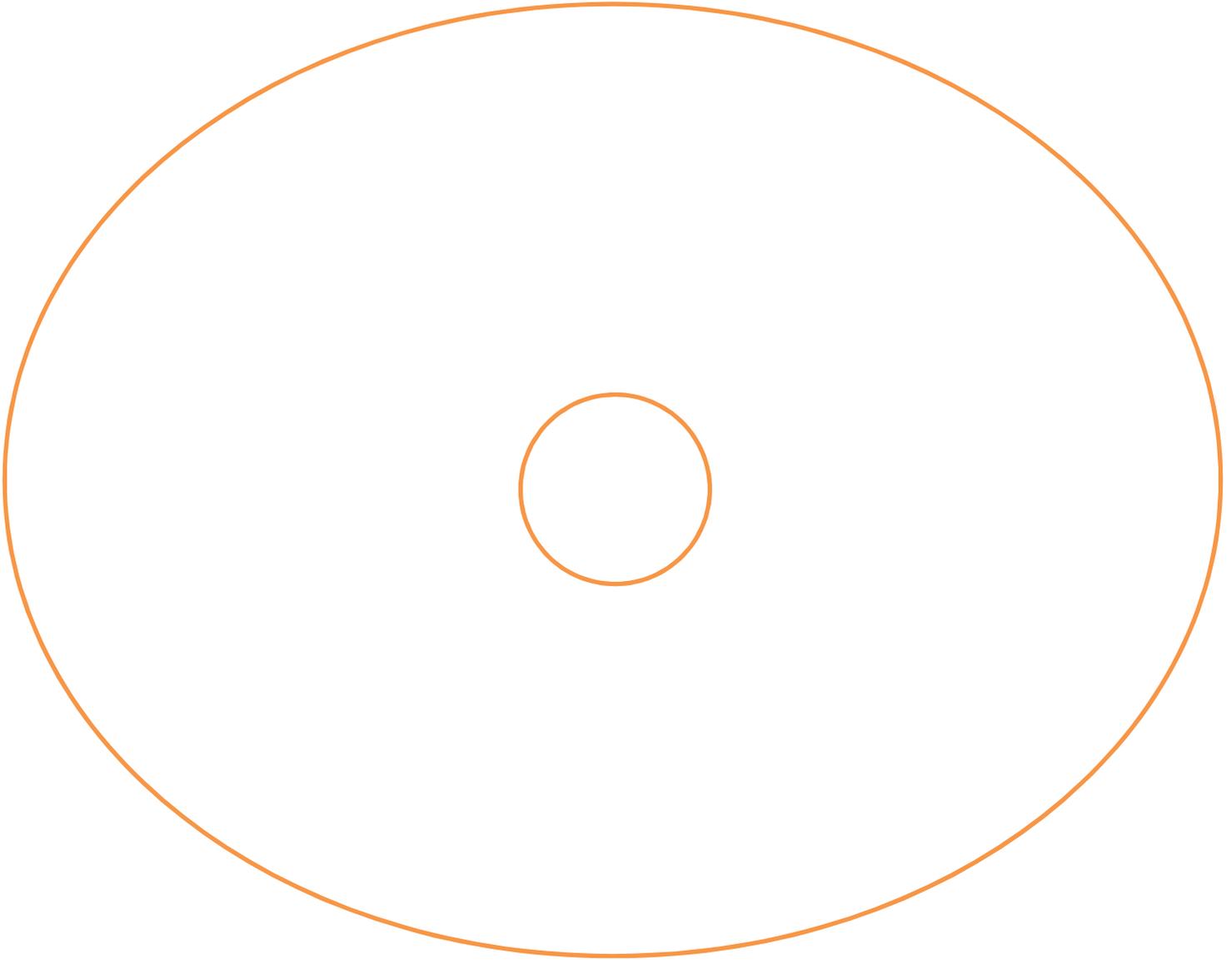
完成したワークシートはクラス掲示等で活用することも可能である。しかし、家族や親戚など、個人的な情報がかかっている際には、事前に了承を得るなどの配慮等を十分に行う必要がある。

資料

参考文献 「心の教育授業実践研究第4号」

わたしをつつんでくれているひと

ねん くみ なまえ:



おもったこと